

環境報告書（第十八回）

第96期（R2年度・R.2.5/21～R.3.5/20）

令和3年6月10日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸17年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひいたします。当社足立生産センターにおける本年度（96期）環境マネジメントシステム（EMS）の状況についてご報告いたします。

■目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境（森林資源）を守る	薄紙印刷や小ロット印刷の需要が一段と進む中、作業手順書・基準書の読み合わせ等を徹底し作業の標準化を推進し、また作業方法の工夫・改善を行いながら作業を進めたが、ごく僅かながら目標を達成することが出来なかった。今後も積極的にチャレンジしていく。
電気を使用する ガスを使用する	有限なエネルギー資源を有効に使う	定期的な設備点検や状況に応じ消灯の励行を推進を行った。また、小ロット印刷の受注が一段と増える中、版替え作業の効率化を目指し作業を進めた結果、電気、ガス共に目標を達成することが出来た。今後も継続して取り組んでいく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める（プラスの環境側面）	インキの在庫管理を引続き厳格に行うと共に、適量発注、残インキの再利用などにも工夫して取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。今後も創意工夫を図りながら取り組んでいく。
ロス・ミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める（プラスの環境側面）	目標達成のため、各作業ごとに基準書の読み合わせや意見交換も行いながら取り組んだ。但し、ここ数年連続している小ロット受注に伴う予備率や、不可抗力的な外部要因などによる事象などもあり、僅かながら目標達成には至らなかった。今後も改善の取組みをしながら進めていく。
廃棄物の削減	廃棄物を削減し省資源に努める（プラスの環境側面）	資源の有効活用と廃棄物のリサイクル化をさらに推進してきた。但し、昨年来一部リサイクル化の仕組みが変更になった結果、廃棄物としての引取り量が増え目標を達成することが出来なかった。今後も創意工夫を図りながら取り組んでいく。

■主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを始め全社員に対して、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷技術・知識の向上を図っている。同時に環境活動（力量）へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも取り組んでいる。
- 目的・目標の達成状況は数値管理の他、5W1Hのプログラム（進捗状況管理型）を作成し継続している。進捗状況管理型の継続により、結果や進捗状況の“見える化”がより進められ、社員の意識向上に繋がっている。
- 「資格取得計画表」を作成し、社員が必ず資格や技能を取得することを目指している。より高度な技能や知識を習得することで生産性の向上が図られ、併せて環境目標達成へ繋がられるよう取り組んでいる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。